

*** 今日の健康 (8月) ***

< 地球温暖化と感染症 ③ >

感染症とは、微生物が体内に侵入し感染することによって起こる病気の総称と定義されます。ウイルスや細菌などの病原体が、野生動物や家畜などの自然宿主から蚊やダニなどの媒介動物を介して、飲料水や食物を介して、あるいは人から人に直接に侵入するために起こる病気です。

< どんなときに感染症にかかるのか >

感染症を引き起こす病原体には、ウイルス、細菌、原虫、寄生虫、真菌（カビ）など、さまざまなものがあります。一般的には、次のような条件があると、感染症にかかりやすくなります。

- ・ 人の体に侵入する病原体の数や侵入の機会が多い
- ・ 病原体の自然宿主や媒介する生物（媒介動物）が多い（注：媒介動物なしに感染する感染症もあります）
- ・ 病原体が侵入しやすい居住空間や生活様式である（ウイルスや媒介動物などと接触しやすい）
- ・ 公衆衛生の状態がよくない（栄養、衛生状態が悪い）

つまり、私たちが暮らす地域の中で、これらの条件がそろわないようにするための対策が重要となります。

< 地球温暖化（とくに気温や降雨量の変化）との関連が示唆されている感染症 >

主として蚊に媒介される感染症である、マラリア、デング熱、ウエストナイル熱、日本脳炎などが、温暖化とともに増加することを予測している報告もあります。しかしながら媒介動物の分布が、気温とともに降雨や地表水の状態の変動にも大きく依存しており、気温上昇のみでは説明しきれません。

温暖化に関連すると予想される感染症についても、世界保健機関のリスク評価結果では国際的には栄養不良、下痢、マラリア、洪水の順に死亡リスクが小さくなる傾向が示されています。気温以外の他に降雨量などの気象条件や、媒介動物の生態の変化、脆弱性の高い集団の変化、衛生環境の整備、治療や予防のための技術や必要な資源の変化などによる間接的な影響も重要です。

< 感染症と感染経路の例、網掛の部分が温暖化に影響を受けるとされています。 >

	媒介するもの	感染経路	感染症の種類
直接感染		咬まれる なめられる ひっかき傷 排泄物	狂犬病 パストレラ症 猫ひっかき病 トキソプラズマ症、回虫症
間接感染	媒介動物によるもの	蚊 ダニ げっ歯類 ノミ 巻き貝	日本脳炎、マラリア、デング熱、 ウエストナイル熱、リフトバレー熱 ダニ媒介性脳炎 ハンタウイルス肺症候群 ペスト 日本住血吸虫
	環境が媒介するもの	水系汚染 土壌汚染	下痢症（コレラ等） 炭疽
	動物性食品が媒介するもの	肉 魚肉	腸管出血性大腸菌感染症（O157 血清型）、 サルモネラ症 アニサキス症

前澤クリニック 内科・小児科 0422-30-2861

天文台通り多摩信用金庫のななめ裏